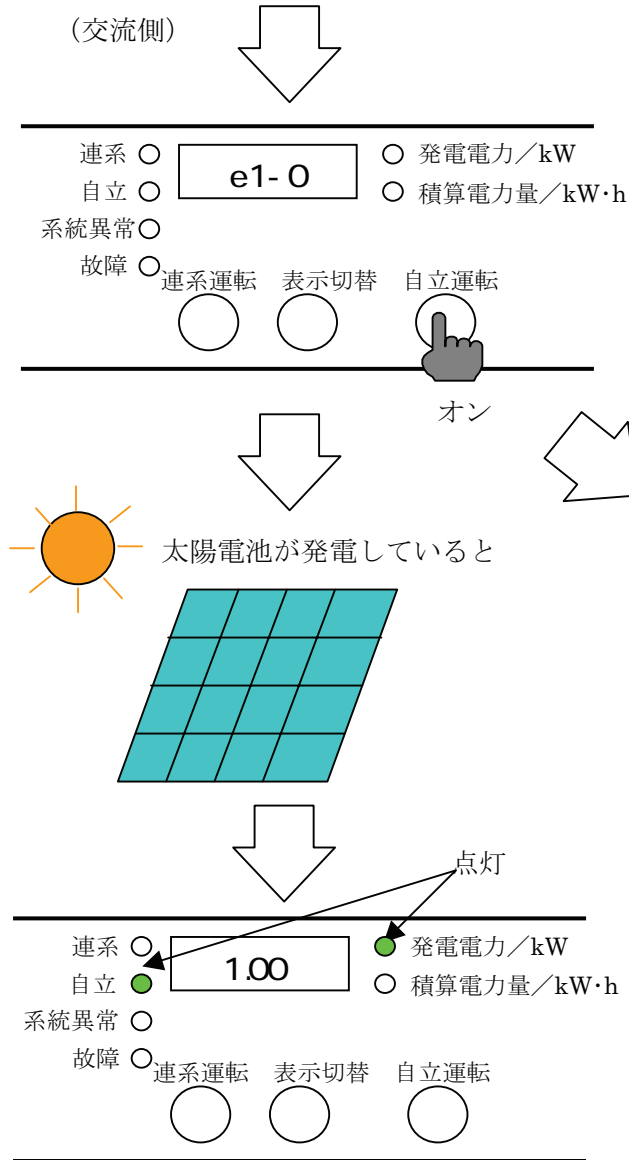


停電時の使い方（自立運転）

パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

- ・PV分岐ブレーカを‘オフ’にしてください。

(交流側)



- ・表示部に「e1-0」、表示部の中央に「.」、または、カウントダウンが表示されていれば、太陽電池は発電しています。
- ・自立運転スイッチを‘オン’にしてください。連系運転スイッチは必ず‘オフ’にしてください。

太陽電池が発電するまで、すべての表示は消灯します。
また、夜間表示スイッチを‘オン’にすることで、夜間に積算電力量、ユーザ積算電力量が確認できます。操作方法は、積算電力量の表示方法（夜間）10ページをご覧ください。

自立ランプが点灯し、運転を開始します。

停電用コンセント（AC100V／15A）に使用したい機器を接続してください。

- 運転を停止させる場合は、自立運転スイッチを‘オフ’にしてください。
- 運転を停止した後、表示部にカウントダウンを表示します。
- 接続する機器の電力の合計が1500W以内(AC100V 合計15A以内)になるようにしてください。
- 発電量は天候により変化します。接続する機器の消費電力が発電量より大きいと機器が停止します。また、掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働き停止することがあります。